

# 日経B P 記事検索サービスについて

経済学部助教授 田 中 敬 一

## 1. はじめに

「レポートの問題について調べたい」、「新聞記事や雑誌を閲覧したい」、「就職先の企業情報を調べたい」、今までこのような場合には図書館へ行き、書籍や雑誌などの資料を直接閲覧して、目的の情報を求めるという手法が行われてきた。ところが、近年のIT化の進展により、従前の利用法よりもはるかに効率的な資料収集が利用できるようになってきた。これは、資料を作成する時にあらかじめ電子情報としてデータベース化を行うことを前提にシステムが構築され、それを提供するインフラが充実してきた所以である。

このような時代的背景のもと、本学中央図書館のホームページでは、積極的にWeb上からのデータベース検索の導入がなされてきた。

従来から経済学部では、「日経テレコン21」をIP認証によって本学全てのPCより接続し利用してきた。そして、充実を図るため2004年1月に日経B P 記事検索サービスを導入し、経済記事やIT関連記事の検索の効率化をはかった。

このデータベースでは、日経B P 出版から出されている雑誌記事検索が利用でき、必要とするデータをテキスト形式やPDF形式で閲覧することが可能であり、非常に簡単な操作で必要とする情報を得ることができる。

本稿では、日経B P 記事検索サービスの概要とその活用法について述べてみたい。

## 2. 日経B P 記事検索サービスの概要

日経B P 記事検索サービスは、日経B P 社が出版している約40種類の雑誌から学内PCを利用して検索と閲覧ができるシステムである。

平成17年9月14日現在、検索できる雑誌は表1のとおりである。表1では、雑誌の関連分野ごとに、その雑誌名と雑誌の概要、そしてデータベース上に収録されている期間を掲載している。収録されている分類からもわかるように、ビジネスやIT・エレクトロニクスを中心とした専門性の高い雑誌で構成されている。

表1 日経BP記事検索サービス収録一覧

分類	雑誌名	概要	収録期間
ビジネス関連雑誌	日経ビジネス	経営層のための経済・経営の総合情報誌	1997/09/08～
	日経ベンチャー	日本を変える“ニッポン”の経営者に	1999/04～
	日経エコロジー	環境時代を切り拓く技術&経営情報誌	1999/07～
	日経アドバンテージ 【現在休刊中】	強い企業をつくるIT戦略誌	2003/05～2004/06
	日経BPガバメントテクノロジー	電子自治体サービスの実務情報	2003/09/29～
	日経ビズテック	MOTを究める技術経営戦略誌	2004/07/30～
コンピュータ関連雑誌	日経コンピュータ	情報システムとネットワークの総合誌	1998/03/02～
	日経情報ストラテジー	経営革新にITを活かす	1998/05～
	日経システム構築	最適ソリューションを実現するための実務専門誌	1998/11～
	日経ソリューションビジネス	顧客への最適提案で、IT市場を攻略する	1998/01/23～
	日経Windowsプロ	Windowsシステム構築・運用のための実務情報誌	1999/07～
	日経インターネットソリューション 【現在休刊中】	ネットシステムの企画・構築・活用誌	1998/05～2004/01
	日経ソフトウェア	ソフト開発とプログラミングのための実務情報誌	1999/07～
	日経Linux	Linux活用のための実務情報誌	1999/10～
	日経ITプロフェッショナル	プロを目指す人のスキルアップ実務誌	2002/06～
関連雑誌	日経IT21 【現在休刊中】	500万社のためのIT実践活用誌	2001/07～2003/02
	日経パソコン	パソコンを仕事と生活に生かす総合情報誌	1997/10/06～
	日経バイト	コンピュータ技術の真髄を問う技術専門誌	1998/08～
	日経PC21 【現在休刊中】	ビジネスマンのパソコン誌、必ず使える、必ず分かる	2005/03～
関連雑誌	日経MAC 【現在休刊中】	創造的ビジネスのためのマッキントッシュ活用誌	2000/03～2000/12
	日経コミュニケーション	通信ネットワークに関わる意志決定を支援する情報誌	1998/01/05～
	日経NETWORK	ネットワーク技術が基礎から身につく情報誌	2000/05～
機械関連雑誌	日経ネットビジネス 【現在休刊中】	ネット戦略マネジャーの実務情報誌	1997/04～2003/01
	日経エレクトロニクス	デジタル時代の電子・情報・通信技術の総合誌	1998/08/10～
	日経ものづくり	製造業の課題解決と技術革新を支援する	1998/08～
	日経マイクロデバイス	デバイス技術者の専門誌	1998/01～
	日経Automotive Technology	クルマの技術の明日を読む	2004/06～
連雑誌	日経デジタルエンジニアリング 【日経ものづくりに統合】	製造業の課題解決と技術革新を支援する	1999/01～2004/03
	日経アーキテクチュア	プロフェッショナルが選ぶ建築情報誌	1999/04/05～
	日経コンストラクション	土木の総合情報誌	1998/07/24～
関連雑誌	日経ホームビルダー	住宅建築技術者のための実務情報誌	1999/07～
	日経デザイン	新製品開発に携わる人のためのデザイン活用情報誌	1999/01～
	日経レストラン	フードビジネスのマーケット先端情報誌	1999/04～
関連雑誌	日経食品マーケット 【現在休刊中】	消費者のニーズがわかる食品小売り・流通専門誌	2003/07～2004/07
	日経メディカル	第一線臨床医のための総合医療情報誌	1998/08～
	日経ヘルスケア21	医療・介護の経営情報	1999/04～
	日経ドラッグインフォメーション	薬局・薬剤師のためのスキルアップ&マネジメント情報誌	2000/01/10～
関連雑誌	日経バイオビジネス	バイオテクノロジーの専門情報	2001/06～

(日経BPホームページより作成)

日経BP記事検索サービスを利用するためには、本学の学内に接続されたPCであればどこからでも接続は可能である。なお、自宅からの接続は許可されていない。学内からの接続は、まず中央図書館のHP (<http://www.clib.kindai.ac.jp/>) から接続することになる。



図1 本学中央図書館のHP (トップページ)



図2 日経BP記事検索サービスのHP

図1の本学中央図書館のHPよりデータベース検索(学内用)の「日経BP記事検索サービス」をクリックすると、図2の日経BP記事検索サービスのHPへジャンプする。このページのキーワード検索欄に検索したいキーワードを直接入力し、検索ボタンをクリックすると図3の検索結果が返ってくることになる。該当する記事を読覧するには閲覧ボタンの「テキスト版」もしくは「PDF版」ボタンをクリックすると、すぐに記事が参照できる。

②検索ボタンをクリックする

①キーワードを入力する

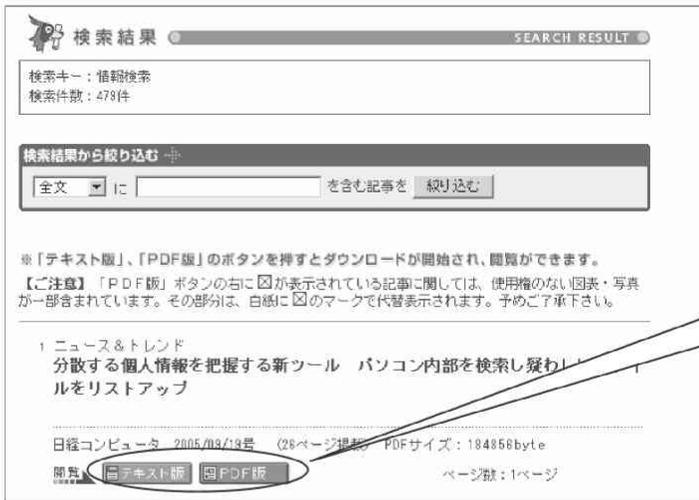


図3 検索結果の画面

また、雑誌記事を検索するには、単一のキーワードから検索するフリーキーワード検索以外に次のような検索が可能である。

①雑誌の表紙から探す「雑誌発行日検索」

雑誌名と発行年から検索することが可能であり、特定雑誌の連載記事をまとめて参照する場合などに便利な検索方法である。

②複数条件から探す「エキスパート検索」

5つのキーワードをフリーキーワードで指定でき、そのキーワードを論理演算〔論理積(AND), 論理和(OR), 論理否定(ANOT)]で設定することが可能である。そして、雑誌の発行期間を「過去1ヶ月以内」や「過去6ヶ月以内」や「指定無し」などの6つから選択でき、検索対象の雑誌も設定することが可能である。

③会社名から探す「企業名検索」

目的の企業名を入れることで、その企業の関連する記事を一括して参照したい場合に利用する検索方法である。

これらの検索方法のうち、どの方法を利用して検索するかは検索する内容によってケースバイケースで対応することになる。

### 3. 日経BP記事検索サービスの活用法

大学において、日経BP記事検索サービスの活用法は、いろいろなことが考えられる。例えば、受講している講義のレポートを作成する場合や、卒業論文作成のための資料収集などに活用することができる。レポートや卒業論文を作成するためには、特定のキーワードの資料を集めることが非常に重要である。「フリーキーワード検索」を利用することで一瞬のうちに多くの資料を手元に揃えることができる。これらの資料をもとにして、内容を分析し、レポートや卒業論文の構成等を検討することが可能である。また、内容を分析した結果、新たなキーワードが出てきた場合には、再度検索することで、新たな資料を手にすることができるであろう。

また、就職活動時には対象となる企業の情報収集などにも利用できる。これは、「企業名検索」や「業界動向ウォッチ」を利用することで、希望する企業を分析することができ、その企業の特徴やその業界の動向などの情報収集ができる。ここで得た情報をもとにして面接に臨めば、収集した情報を活かして、有意義な面接ができると思われる。そして、面接官にも好印象を与えるであろう。

コンピュータ関連の雑誌が豊富なことから、

パソコンやITに関する学習などにも活用できると思われる。これは、「スキルアップ連載講座」にある各種のアプリケーションソフトウェア（WordやExcel等）や各種プログラム言語（C言語やJavaやFlash等）の学習に役立てることができる。そして、「最新用語・キーワード」からコンピュータの基礎知識を理解し、用語の完全マスタに活用することも可能であろう。

上記の活用法は、学生側からの活用法であるが、私を含めた教員側も授業に活用できる。私の場合は、担当している科目が情報関連科目であるため特に利用している。担当科目では、次のような利用を行っている。

#### （1）基礎ゼミ

この科目は、1年前期に開講するゼミナール形式の授業であり、新入生に対して教員と学生、学生相互の交流を深めると共に、発表・討議をとおして論理的思考力・表現力・批判力を養い、自主的に学ぶ態度を学習するものである。このため日経B P記事検索サービスを紹介したのち、学生に自主的にテーマを決めさせ、日経B P記事から必要な情報をダウンロードさせ、発表用の報告資料の作成に活用している。

#### （2）コンピュータ概論

この科目は、コンピュータに関するハードウェア、ソフトウェアのそれぞれの側面から概説する講義科目である。この授業では日経B P記事検索サービスを使うことで、コンピュータに関する最新情報が得られることを紹介し、その年度に応じたトレンドにそって、最新のコンピュータに関する記事を解説する時に活用している。

#### （3）ゼミナール

この科目は3、4年次に開講する科目で、卒業時に卒業論文を課している。その中で、最新のコンピュータに関したテーマを選択した学生には、日経B P記事検索サービスを紹介し、資料収集に活用させている。

このように学生の側面からも、また教員側

からも多方面で利用できる日経B P記事検索サービスであるが、私のお薦め日経B P雑誌を紹介してみることにする。

#### <<日経ビジネス>>

経済・経営総合情報誌である日経ビジネスは、毎週発刊されている雑誌で多くのビジネス層に支持されている雑誌である。ビジネスの最前線ではどのようなことが話題になっているかを探索することができ、ビジネス現場での情報を得ることができる。

#### <<日経コンピュータ>>

情報システムに関わる総合情報誌である日経コンピュータは、企業の情報システム化に関する記事が豊富であり、IT分野で注目されている動向などを把握することができる。ITプロフェッショナルの多くの方々から支持を得ている。

#### <<日経ソフトウェア>>

オフィス系アプリケーションを使いこなしてくると、パソコンを自在に操りたくなる人が多い。このような場合、各種プログラム言語を使ってプログラミングすると、パソコンに指令を与えることができる。日経ソフトウェアではこのようなプログラミング技術を協力をサポートする雑誌である。

#### <<日経パソコン>>

パソコンの総合情報誌である日経パソコンは、パソコンのハードウェア、ソフトウェアの最新動向についての記事が多く掲載されており、パソコン初心者にも活用できる雑誌である。また、パソコンに関する使いこなしについて多くの記事が連載されており、実際にパソコンを操作しながら学習すれば、多くの知識を身につけることができる。私自身も昔から講読している雑誌である。

#### 4. おわりに

パソコンが誕生して四半世紀が経過しよう

としている。当初はゲームマシンとして利用されていたが、技術の進歩によりビジネスや教育にも利用されるようになってきた。そして、インターネットの標準通信プロトコルであるTCP/IPがWindows95に採用されて以来、パソコンのインターネット接続環境に大きな影響を与え、現在ではインターネットが無ければ日常生活ができなくなろうとしている。また、わが国ではIT国家戦略であるE-JAPAN戦略のもと、先進国の中でも低価格のブロードバンドの環境を提供することが実現できるようになり、インターネットをとおして多くの情報を容易に得ることができるようになった。

このようなハードウェアに関するインフラの発展と日経BP記事検索サービスに代表されるような商用データベースの充実により、以前では考えられなかった資料収集の枠組みが確立されてきている。多くの情報が氾濫しているので情報の取捨選択が重要であることは言うまでもないが、正しい情報を得るためには日経BP記事検索に代表されるような商用データベースの有用性を認識する必要がある。

これからの図書館は単に書籍だけを配置するのではなく、本学の中央図書館が実施しているように、積極的な商用データベースの導入が必須である。そして、このことが図書館の利用価値を高めていくことになると考えている。